

・旅行に行くためのお金を貯める

といった、一つの目的を達成するために貯めていくことが多く、

また、貯める目的が明確なため、家計の他の支出を削って貯め始めても、

「目的達成のために、節約、節約」

と、前向きに行動することができます。

しかし、老後の生活資金のためにお金を貯めることは、

昨今の公的年金が、何歳からいくらもらえるのか、不安でありながら、

今一つ、躊躇する方もみえます。

そこで今回は、老後の生活資金を貯める理由を、探っていきます。

現役より老後の生活の方がお金を使う

老後とは、

サラリーマンの方であれば、毎月勤め先から給与が入ってくる現役の生活とは異なり、

公的年金が主な家計の収入となり、毎日の行動は、ご自身で決める生活のことを言います。

ご自身の行動にかかる費用は、原則すべて家計からの支出となります。

現役時代からの
自宅の水道光熱費や食費といった
生活をしていく上に必要な出費に加えて、

この支出もすべて、
家計からまかなうのが原則です。

従って、確かに老いとともに、
食費などは減るかもしれませんが、

ご自身が行動するための費用、
医療費や介護の状態になったら必要な費用は、
むしろ、
現役の時代より増えるかもしれないのが現実です。

何もしければお金は使わないか？

このようなことをお話しすると、

私は、
無趣味だから、
外に出るのは億劫だから、
人と話すのは苦手だから、

といった理由でお金を貯めることは、

私には必要ない。

といわれる方もみえます。

しかし、それは老後の生活をしていく上で、
落とし穴に落ちる危険があります。

例えば、

表現が多少過剰かもしれませんが、

家に籠って適度な運動をしないために、
機能障害や
認知症などの
心身の病に罹ってしまう可能性があることです。

お金を使う予定がなくても、
その治療費に
何がしかのお金が必要になるかもしれません。

老後の生活でも、
生活費以外に
お金を使わない生活はあり得ないのです。

従って、
あまり他人といっしょに行動することが不得意の方は、

ご自身の老後の行動計画には、

ご自身のみや、
ご夫婦や親しい人のみで、
あまり他人と接することのない、
行動計画を作っておいても良いでしょう。

老後の生活費では貯める意欲がわからない

確かに、
老後の生活のためにお金を貯めるといっても、

冒頭でお話したように、

- ・住宅購入資金
- ・教育費
- ・旅行費用

といった、貯蓄の目的が具体的で、
貯蓄の目標額も設定しやすく、
貯蓄の期間もさほど長くなく、
貯蓄の達成感も味わいやすいです。

しかし、老後のためにお金を貯めるとなると、

公的年金でもらえるお金で足りない部分を
積み立てておく。

といった、目標は明確ではありますが、

具体的に、
何に使うためのお金を貯めるのか、

いくら貯めればよいのか、

いつまでに貯めればよいのか、

といった、漠然とした目的であり、

具体的な目標が、
立てられないことは否めません。

しかし、老後の資金を貯めて、
場合によっては、
その貯蓄を取り崩して生活をしていかないと、

70、80代になってから、
家計が破たんしかねない可能性が
全くないこともないことも事実です。

ではどうしたらよいのでしょうか。

年とともに具体的な目標を設定していく

すでに老後の行動目標が定まっている方は、
それに向かって貯蓄を進めればよいのですが、

まだ、老後に何をするのか決めていない方は、
30、40代のうちは、

毎月2万円といったように、
定期的にお金を貯めていくことです。

- ・定期預貯金
- ・保険会社の商品
- ・株式投資
- ・投資信託

など、商品の詳しい説明は省略しますが、

これらの金融商品を、
税制優遇のある、

- ・NISA(ニーサ：小額投資非課税制度)
- ・個人型確定拠出年金 iDeCo (イデコ：個人型確定拠出年金)

を利用して運用をするのもひとつの手です。

そして、50代や退職が近づいたら、

ご自身が決めた
老後にする具体的な行動計画に基づき、
これまでに貯めたお金を
配分していけばよいのです。

「そんなことできるか!?!」
と、いわれる方もみえるでしょう。

まずは、
「老後の生活資金」とだけ目標を位置づけて
お金を貯めてください。

と、私はその方に申し上げます。

老後の生活に入ってからでは遅い

ここまでお話してきたことは、
お金がいること、「使う」ことです。

従って、
特に、老後の生活で、
年金が主な収入となる方には、
現役中に必ず実施いただきたいことです。

必要に以上にお金が貯まったらどうするの？

年1回の海外旅行を2回に増やしても良いでしょう。

お子さんがみえれば、
適切な税制優遇制度を利用して
相続すれば良いでしょう。

それよりも、
現役中に貯められるお金を貯めなくて、
老後を迎えるのであれば、

貯めておくべきお金は、
現役中にどこに行ったのでしょうか？

■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ

老後の生活資金は、

現役中に貯めておく！

老後の生活を

有意義に過ごすための鉄則です！

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 16 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他の国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ (FP) 協会 CFP (R) 認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士 (資産設計提案業務)
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ (名古屋テレビ) 「UP!」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない!
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

なぜ、「人生の添乗員 (R) 」なのか？

詳しいプロフィールはこちらから

http://www.makino-fp.com/documents/fpmakino_009.pdf

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員 (R) 」どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

■編集後記

親が何らかの方法で、
お金を運用していれば、

お金と関わることには、

子どもに引き継がれます。

その子どもは、

お金に働いてもらうことに
何の抵抗もないのです。

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
